

Terakoya Sendai 特別編

第130回
寺子屋せんだい

ものづくり企業の
デザインと
マーケティング

仙台市ものづくり実現可能性調査事業 成果報告会

ものづくり企業が製品開発や販売を成功させるために
必要となる「デザイン」と「マーケティング」について
セミナーと事例発表を通じてお伝えします。

2019年 2月22日 [金]

会場：(公財)仙台市産業振興事業団 AER7F
時間：17:00～19:30 / 交流会 18:40 より
参加費：1,000円(交流会費含む) 定員：40名

第1部

基調講演「経営におけるデザインの役割」
東北工業大学ライフデザイン学部 教授 | 坂手勇次 氏

第2部

事例発表「仙台市ものづくり実現可能性調査(MFS)事業成果報告会」
経営支援NPOクラブ、仙台市MFS事業採択事業者4社

当事業団HPの申込みフォーム、メールまたはFAXにてお申し込みください。
詳しくはうら面をご覧ください。

ものづくり企業のデザインとマーケティング

仙台市ものづくり実現可能性調査事業 成果報告会

日時 — 2019年2月22日(金) 17:00～19:30

会場 — (公財)仙台市産業振興事業団 会議室 (仙台市青葉区中央1-3-1 AER7階)

第1部 基調講演

「経営におけるデザインの役割」

経済産業省が発表した『デザイン経営』宣言にあるように、今、デザインを活用した経営手法が注目されています。今、なぜ経営とデザインなのか。経済産業省『デザイン経営』宣言の概要をご紹介します。デザインの新たな役割についてお話しします。

東北工業大学ライフデザイン学部クリエイティブデザイン学科 教授 坂手 勇次 氏

1982年、京都工芸繊維大学工芸学部意匠工芸学科卒業。オムロン株式会社広報宣伝部、デザイン部、経営戦略部、技術本部企画室長、オムロンFAストア株式会社代表取締役社長などを経て、2013年から現職。日本デザイン学会、日本人間工学会、ヒューマンインタフェース学会所属。



第2部 事例発表

「仙台市ものづくり実現可能性調査(MFS)事業 成果報告会」

仙台市では、優れた技術を持つものづくり系の中小企業者に対して、BtoCのマーケットインの手法を取り入れ、新事業の実現可能性を評価分析する「仙台市ものづくり実現可能性調査(MFS)事業」を実施しました。今回は、採択事業者が実際に受けた支援、支援を受けた効果、今後の事業展開などをお話しします。

1. 経営支援NPOクラブ顧問／仙台市MFSプロジェクトリーダー 金子 壽光氏
「事業強化支援の基本的な考え方と独自システム」
2. 東社シーテック株式会社 代表取締役 本田 光正氏
「フォトリソグラフィを用いた分光カメラによる果物の糖度測定器」
3. 株式会社馬淵工業所 代表取締役 小野 寿光氏
「温泉廃熱利用業務用冷蔵庫」
4. 株式会社マトロ 代表取締役 奈良 清二氏
「協働ロボット事業の立ち上げについて」
5. 光洋精機株式会社 代表取締役 若林 洋光氏
「産業機器の汎用化に関する開発」

お申し込み方法

Webサイト >>> <https://www.siip.city.sendai.jp/n/2019/0222/01.html>

当事業団Webサイトの申込みフォームにてお申込みください。または「第130回寺子屋せんだい申込み」と明記の上、必要事項(①氏名 ②所属団体名 ③部署 ④電話番号 ⑤メールアドレス)をメールかFAXにてご連絡ください。

お問合わせ先：公益財団法人 仙台市産業振興事業団 新事業推進課 担当/玉置・浅野

〒980-6107 仙台市青葉区中央1-3-1 AER7F

TEL. 022-724-1126 FAX. 022-715-8205 Mail. shinjigyo@siip.city.sendai.jp

※お申込みでご記入いただいた個人情報は、受講者名簿の作成、受講および受講後のフォローに関するご連絡のほか、当事業団および仙台市が実施する各事業の情報提供の目的のみに使用します。